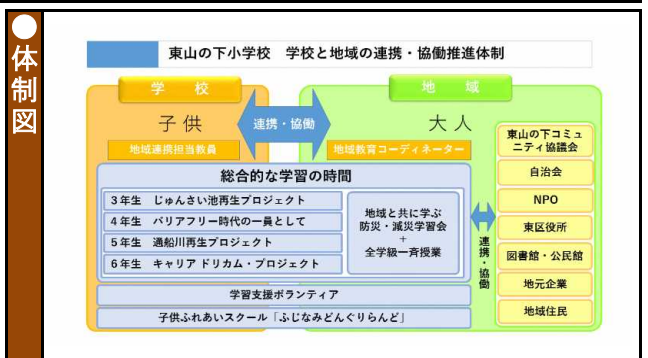


新潟県新潟市	●活動名	●関係する学校名
	東山の下小学校地域学校協働活動本部	新潟市立東山の下小学校

協働活動開始年度	平成 21 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	36 学級	のべ児童・生徒数	921 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	—			
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
参考URL	http://www.higashiyamanoshita-e.city-niigata.ed.jp/						

●連絡先	新潟市教育委員会 地域教育推進課	☎ 025-226-3277
------	------------------	----------------



●活動の概要・経緯

従来より、保護者の教育活動に対する関心が高く、特に核になる方々は大変熱心である。地域コミュニティ協議会も大変熱心であり、地域課題を解決すべく取組を進めてきた。数年前より、「学校が地域から助けをもらうだけではなく、教育課程の中で、何か地域のためにやっておられることはないか」と、学校が考えるようになった。学校と地域の各団体との情報交換の中で、「保護者世代から防災に関する意識をさらに高めてもらうための取組」そして「校区の環境問題に関する取組」についてが話題に上るようになった。そこで、関係団体との話し合いを経て、3年生以上の総合的な学習の時間を中心に「楽しくて、安心・安全なまち 大好き東山の下」の取組を実施するに至った。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①年間を通して、毎日のように学校支援ボランティアが入り、「健康診断補助」「新潟甚句指導」「水泳監視補助」等、様々な学校支援活動に参加してくれている。その数は年間で、延べ3,500人を上回っている。
- ②校区は、海拔0m地帯などの低地もあり、信濃川からの遡上により脇を流れる通船川からの水害を考えなくてはならない。そのため、「地震・津波」に関する学習内容を教育課程に位置付け、関係機関から多くの協力を得て、全学年による「防災教育」として組織し直した。
- ③「ふじなみどんぐりらんど」(放課後子供教室)を、月・水・土曜日に実施しており、子供たちの放課後の遊び場を提供している。「笹団子づくり」「ちまきづくり」「クリスマスイベント」「もちつき」等のイベントも実施しており、親子での参加も多い。

【実施に当たっての工夫】

- ①地域コーディネーターの尽力により、地域コミュニティ協議会や各自治・町内会を通じて、学校支援に参加するボランティアが大変多い。「読み聞かせ」ボランティアは、自分たちで勉強会まで開催している。
- ②休日に小学校体育館で実施する地域コミュニティ協議会主催の「地域防災訓練」「避難所運営訓練」の当日を地域と学校ウェルカム参観日とし、全学年がゲストティーチャー等を活用した「防災教育」「環境教育」の授業を実施して、地域住民を学校に招待し、参観を促した。
- ③「ふじなみどんぐりらんど」は、地域コミュニティ協議会、育成協議会、交通安全推進協議会、民生委員・児童委員、放課後児童クラブ、PTA正副会長が運営委員会を開催しながら検討を進めている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ①多くの学校支援ボランティアと接することで、「地域の方から褒められたり認められたりすることを通して、児童の自己肯定感が育まれている」と全ての教員が肯定的に評価している。
- ②参観に来た地域住民や保護者を巻き込んだ授業を実施したことで、地域住民や保護者世代の「防災や環境に対する意識」の高揚に寄与することができ、学校が地域の「学びの拠点」となった。高い評価を得たこの取組は、市内の研修会で発表する機会を得て、他校の参考となった。
- ③「ふじなみどんぐりらんど」と3つの「ひまわりクラブ」(放課後児童クラブ)の共催で、土曜日午前中の災害を想定した地震・津波避難訓練を実施した。その様子は、好事例として、市内で開催した放課後子供教室研修会の際に紹介された。

● その他

PTA以外では、「公民館」「図書館」「大学・専門学校」「NPO」「地元企業」「自治会・町内会」「地域コミュニティ協議会」「スポーツ振興会」「東区社会福祉協議会」「デイサービスセンター」「新潟市民謡連盟」等、大変多くの団体と連携・協働している。



「防災・減災学習会」がゲストティーチャーで地域の方



「通船川プロジェクト」の生きた物について説明